

令和8年度滋賀県立河瀬高等学校 学校独自型選抜

受検番号		小論文 【1枚目】
------	--	------------------

- 注意
- * 解答は、解答用紙の決められた欄に縦書きで書きなさい。
 - * 問2の解答は、原稿用紙の使い方に従って書きなさい。
 - * 文字は楷書、仮名遣いは現代仮名遣いで書きなさい。
 - * 問題用紙は2枚、解答用紙は2枚あります。

資料Aは、主要先進国のごみの処理方法の比率と各国の国土面積についてまとめたものです。資料Bは日本で排出されるごみの内訳に関するグラフです。文章C、文章Dは、書籍からの引用です。これらの資料や文章を読み、あとの1から2の各問いに答えなさい。

資料A

	ごみ処理方法の比率(%)						国土面積 (千km ²)
	リサイクル	コンポスト	焼却(エネルギー回収)	単純焼却	埋め立て	その他	
韓国	59.2	0.8	23.7	1.6	14.7	0	100
ドイツ	49.5	17.8	30.8	0.5	0.2	1.2	358
デンマーク	31.3	16.7	51.2	0	0.9	9.0	43
スイス	30.9	21.6	47.5	0	0	0	41
スウェーデン	29.9	15.9	53.3	0	0.7	0	439
フィンランド	29.1	13.1	57.0	0.03	0.7	0	338
オーストラリア	28.0	17.7	0	0	53.8	0.3	7,692
イギリス	27.1	16.8	37.9	1.1	14.4	2.7	244
アメリカ	25.1	10.0	12.7	0	52.1	0	9,834
フランス	25.1	18.9	34.8	0.3	20.9	0	641
カナダ	19.5	7.6	4.0	0	69.3	0	9,985
日本	19.8	0.4	73.7	5.1	0.98	0	378

(『2025 データブックオブザワールド』およびOECD(2018)データをもとに作成)

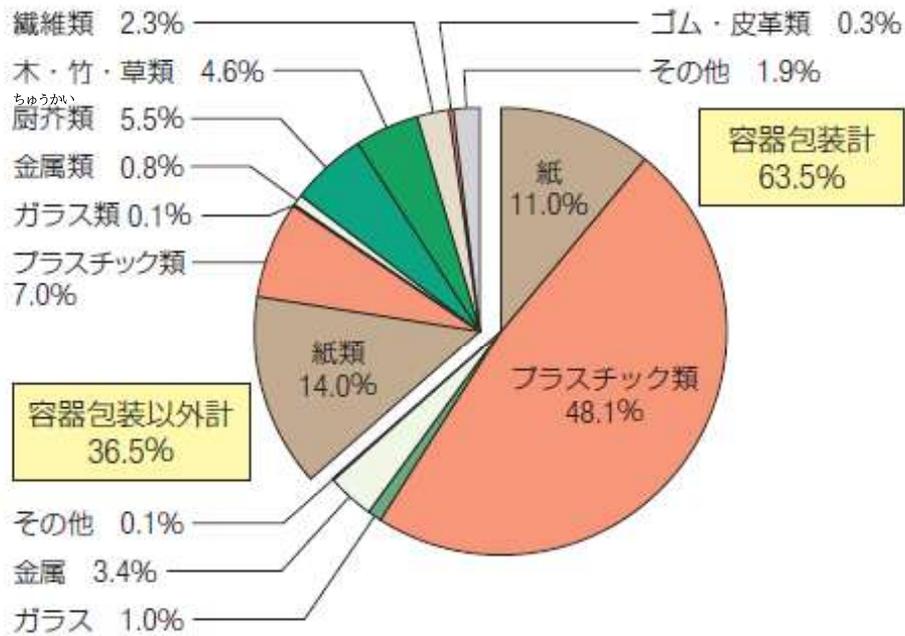
(注) *コンポスト：生ごみや落ち葉などを微生物の働きにより分解し、肥料に作り替えて再利用する処理方法。

*焼却(エネルギー回収)：廃棄物を焼却する際に発生する熱エネルギーを、発電や暖房などに再利用する処理方法。

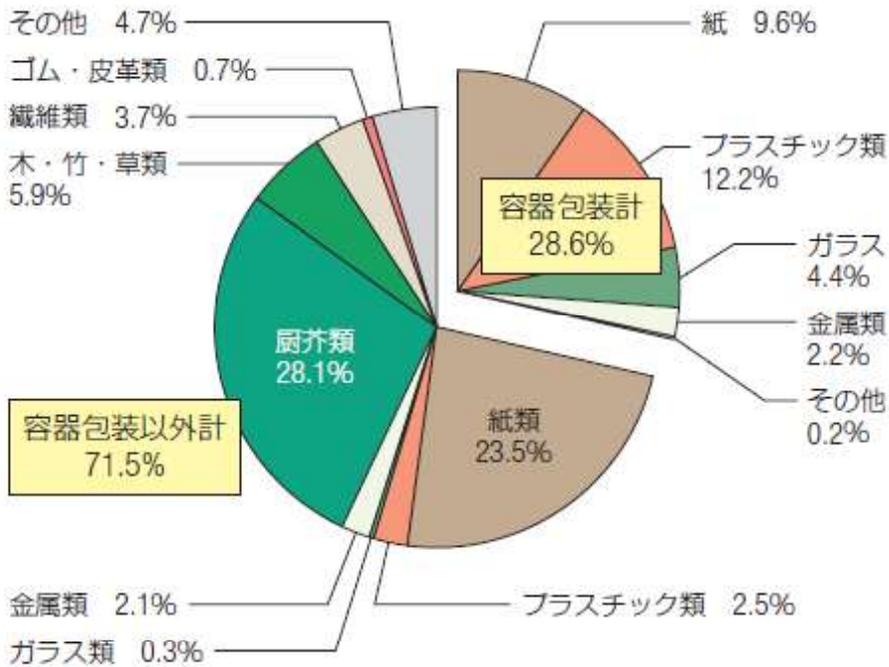
*単純焼却：発生する熱エネルギーの再利用を行わない焼却方法。

資料B

日本で排出されるごみの内訳（容積比率）【2024年】



日本で排出されるごみの内訳（湿重量比率）【2024年】



※四捨五入による端数処理の関係で合計値が合わない場合がある。

（一般社団法人産業環境管理協会『リサイクルデータブック 2024』より引用）

（注）*容積比率：全体の体積に占める、特定の部分の体積の割合。

*湿重量比率：水分を含んだ状態で測定したときの、全体の重量に占める、特定の部分の割合。

*厨芥：主に調理場から出る生ごみ。

令和8年度滋賀県立河瀬高等学校 学校独自型選抜

受検番号

小論文【2枚目】

文章C

「著作権保護のため削除」

(栗岡 理子『プラスチックごみ問題入門——安心して暮らせる未来のために』による。)

「著作権保護のため削除」

文章D

「著作権保護のため削除」

「著作権保護のため削除」

(井出 留美『食料危機 パンデミック、バッタ、食品ロス』による。)

「著作権保護のため削除」

問1 資料Aから、日本のごみ処理方法について、他国と比較してどのような特徴が見られるか、100字以内で説明しなさい。(40点)

問2 日本のごみ処理の課題を解決するために、どんなことが必要だとあなたは考えますか。資料A、資料B、文章C、文章Dをふまえながら、あなたの考えを500～550字で説明しなさい。(160点)